

令和7年度

# 札幌市文教施策に関する 要望書手交式

令和6年10月30日、札幌市教育委員会 会議室において「令和7年度札幌市文教施策に関する要望書」手交式が執り行われました。札幌市教育委員会から山根教育長、廣川教育次長、井上生涯学習部長、大瀬生涯学習推進課長にご出席いただき、札幌市PTA協議会からは高原会長、高瀬副会長、青山総務委員長、村田総務副委員長、坂上総務委員が出席しました。高原会長から山根教育長へ「要望書」の手交の後、青山総務委員長から要望書の概要について説明を行いました。本要望書は、札幌市内約12万世帯から寄せられた3,033件の文教施策に向けての貴重なご要望やご意見を札幌市10区の各PTA連合会から選出の10名の委員で慎重に精査しまとめ上げたものです。山根教育長から「要望書の内容は子どもたちに必要なものばかり。総務委員会での議論、精査の結果を、札幌市教育委員会としてしっかり受け止めます。日頃、子どもたちと接してくれているPTAとの直接の対話はありがたく、貴重なものと考えている」とのお話をいただきました。その後、和やかな雰囲気でご懇談が行われ、猛暑対策やすぐる活用拡大、いじめ防止に向けての相談窓口周知カードなどが話題に上がりました。今回の要望書に対する回答書の手交式は、令和6年12月26日に執り行われる予定です。



札幌市PTA協議会のホームページでは、過去の要望書、回答書ならびに意見書(令和5年度より、要望書の記載に至らなかった貴重な声も意見書として教育委員会へ提出しています)をご覧ください。



第138号12月2日発行

# PTA さっぽろ

- 編集・発行：札幌市PTA協議会 広報委員会
- ホームページ <https://sapporo-pta.gr.jp/>
- e-mail [shipikyo@sapporo-pta.gr.jp](mailto:shipikyo@sapporo-pta.gr.jp)
- 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1-1-10  
札幌市生涯学習総合センター3F TEL. (011) 671-2371
- 印刷：株式会社OK印刷

## 札幌市教育委員会への要望

**【授業・学習について】** 欠席者のオンライン授業・リモート授業・chromebookの活用などITの学校現場での活用について、より効果的に進めるための取り組みを希望します。また、各学校へICT活用に関する支援員を配備するなど、サポート体制の充実を希望します。

**【教職員について】** 教職員が、子どもたち一人ひとりと向き合う時間を確保できるように、教職員の増員・加配・専任教師の配置を希望します。

**【特別支援・通級指導教室について】** 子ども一人ひとりの特性に応じた柔軟な支援ができるように、専門的な知識を持った教職員の増加と配置を希望します。

**【支援専門スタッフについて】** 今年度より導入されたアプリにより、スクールカウンセラーへの相談希望の増加が予想されるため、増員や勤務時間数の増加を希望します。また、中学校では相談の予約が取れないとの声が多いことから、重点的な配置を希望します。

**【いじめについて】** 「相談窓口周知カード」について、いじめに対する周知を徹底するためにも小学校3年生以下についても対象とすることを希望します。

**【学校設備について】** 子どもたちの熱中症に対する危機感と教職員の労働環境の改善の観点から、可能な限り前倒しでのエアコン設置工事の実施を希望します。また、全校設置完了に向けた学校ごとの具体的な設置工事計画の提示を希望します。

**【幼稚園について】** 「研究実践園」として、質の高い幼児教育の推進に取り組み小学校教育につながる市立幼稚園の存続を希望します。

**【部活動について】** 中学校の部活動の情報を小学校と共有するとともに、近隣中学校同士との部活動連携の拡充を希望します。

**【図書について】** 学校図書館の蔵書充実や、小学校への学校司書の配置など、子どもの読書環境と読書活動を更に充実させる取組を希望します。

**【その他について】** PTA活動周知に係る各校のすぐる利用に向けたガイドライン等のルール作りを希望します。

## 子どもたち自身の『生きる力』を引き出し 育むために

### 令和6年度 札幌市PTA協議会 研修セミナー

11月12日(火)、ちえりあホールにて、元北海道コンサドーレ札幌の選手であり、現在は同社のアカデミーダイレクターを務める石川直樹氏を講師にお迎えして、研修セミナー「保護者でもある石川直樹が考える子どもの『生きる力』の育み方」が開催されました。札幌市立の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校のPTA会員を対象に、多くのご参加をいただきました。幼少期・選手時代の経験を元に、辛く苦しい時をどのように乗り越えてきたのか、何を学び今に至ったかを、映像を交えながらお話しされた石川氏。「大切なのは、自分の事は自分で決め行動すること」「行動に引っ張られて気持ちがついてくる」という言葉が心に響きました。



保護者は、子どもの心の逃げ場をいほしい。子どもは自分で決めた事は頑張り、やり遂げる力がある。子どもに寄り添ってから向き合う。子どもと共に親も学び続け、成長を続けたいと強く思う研修でした。

## 大切にしたい子育ての神髄～子育ての不易と流行を考える

### 第71回

# 日本PTA北海道ブロック研究大会 石狩管内 千歳大会

■とき：令和6年10月19日(土)・20日(日) ■ところ：北ガス文化ホール・千歳市立千歳中学校・ANAクラウンプラザホテル千歳

第1分科会では、南区PTA連合会が、活動を表彰された「澄川小学校保護者と先生の会」および「藻岩中学校父母と先生の会」からの提言と、区内の単位PTAをつなぐ役割を担う、区PTA連合会としての提言を行いました。単P活動と区P活動を多角的に見る組織運営について、住む地域も、立場も違う参加者が20のグループに分かれ、「持続可能なPTA活動を考える」、「学校と地域を繋ぐPTAの在り方」について、活発な研究討議となりました。札幌市の様な組織体系(単位PTA、各区PTA連合会、市PTA協議会)を持つ連合会としての提言をきっかけとし、地域を越えて「つながる」、子どもの健全な成長を願う、という共通点のもと、どのグループも活発な意見の交換が行われました。

石狩管内の7つの市町村(石狩市・当別町・新篠津村・江別市・北広島市・恵庭市・千歳市)のPTA連合会が心をひとつにし、千歳市内の3つの会場に全道各地から多くのPTA会員を迎えて開催されました。初日には、オンラインも含めて7つのテーマに分かれて分科会が行われ、2日目は、恵庭紅鴉(えにわべにがらす)によるYOSAKOIソーラン演舞と全体会のあと、株式会社植松電機代表取締役および継続型就労支援A型作業所(株)Unizone代表取締役の植松努氏による記念講演が行われました。

第5分科会のテーマは「PTAの活性化を図るICTの効果的な活用」。「ICTを利用した手稲区PTA連合会の活動」と題し、コロナ禍を経て「どんな困難な時でも歩みを止めない」との思いで活動を続けるための取り組みについての提言でした。区P連合会の佐々木勇人さんが「PTAに参加してよかったと思うようにICTを活用して負担を減らし、参加しやすく、参加してみたいと思えるような活動のあり方や内容の検討について、副会長の細川和彦さんは、手稲山口小学校でのアンケートや発信物などの実例紹介と、単Pの活動をお手伝いするのが区Pの役割、とのお話をして下さいました。会場で参加者にQRコードからICT活用に関するアンケートをとり、リアルタイムで結果がスクリーンに表示され共有出来たのが興味深かったです。グループ討議も大変真剣に熱く行われ、貴重な時間となりました。「顔を合わせて話し合う事も必要、ICTとベストミックス、が大切」との言葉がぴったりの会場でした。



	分科会テーマ	提言担当
第1分科会	組織運営 多方面から見た組織運営のあり方	札幌市PTA協議会 (札幌市南区PTA連合会)
第2分科会	家庭教育 ～「食べる」「遊ぶ」「話し合う」ことの大切さ～	南空知PTA連合会
第3分科会	学校支援 保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動	釧路市PTA連合会
第4分科会	地域連携 子育てを支える学校と地域のつながり	函館市PTA連合会
第5分科会	食育・情報 PTAの活性化を図るICTの効果的な活用	札幌市PTA協議会 (札幌市手稲区PTA連合会)
特別第1分科会	中学生討論会 SNSとの上手な付き合い方を考える (Zoom分科会)	北広島市PTA連合会
特別第2分科会	地域課題 持続可能なPTA活動を目指して (Zoom分科会)	当別町PTA連合会 新篠津村PTA連合会

